

経頭蓋磁気刺激(TMS)治療について

経頭蓋磁気刺激治療(以下 TMS 治療)とは、磁気を用いて脳に微弱な電流を誘導し、神経細胞を刺激することによって、神経の働きを整える治療です。これまでに、うつ病の患者様の症状を改善する磁気刺激の方法(プロトコール)が明らかになってきています。薬物療法や電気けいれん療法に比べ、副作用が少ないことが特長の一つです。

TMS 治療のご予約の流れ

(1) 現在、「うつ病、うつ状態」で精神科や心療内科に通院中の患者様

まず、現在の主治医の先生にご相談ください。主治医の先生は日本精神神経学会推奨の適応基準(https://www.jspn.or.jp/modules/advocacy/index.php?content_id=34)をご参考に、適応があると判断される場合は紹介状をご準備頂き、患者様を当院にご紹介下さい。患者様ご自身が当院にお電話(0250-47-3300)頂き、初診のご予約をお取り頂くようお願い致します。

保険診療で TMS 治療が行われる場合、「18 歳以上、うつ病が中等症以上、1 剤以上の抗うつ薬で十分量、十分期間の薬物療法を行っても治療効果が認められない患者様」が対象になります。忍容性の問題により抗うつ薬による十分な薬物療法が行えない場合は、適応となり得ますが、抗うつ薬に対する抵抗感などから、患者本人が薬物療法を希望しない場合は忍容性の問題があるとは判断されません。

当院では自由診療で TMS 治療を行っておりますので、必ずしも、上記の保険診療の適応基準を満たさなくても TMS 治療を行うことが可能です。抗うつ薬による薬物療法が無効であった方のみを対象にするのではなく、抗うつ薬による副作用に対して不安があり、抗うつ薬を使用する前に、TMS 治療を行いたいという御希望がある方に対しても TMS を行う場合もあります。

患者様が治療を希望なさり、主治医の先生が治療適応の判断に迷われる場合は、当院で相談するようにお伝え頂いた上でご紹介下さい。当院で患者様に治療について詳しい説明を行います。

(2) 現在、精神科や心療内科に通院しておらず、向精神薬も服薬なさっていない患者様

TMS 治療を希望なさる旨を当院にお電話(0250-47-3300)でお伝えください。初診のご予約をお取りします。初診時に、治療適応の有無についての判断を行い、治療を行う場合には、治療スケジュールをご相談させていただきます。

現在、当院では以下のような患者様は TMS 治療の対象になりません。

- ① うつ病、うつ状態以外の患者様
- ② 18 歳未満の方
- ③ てんかんや、けいれん発作の既往がある方
- ④ 人工内耳や磁性体クリップなど、治療部位に近接する金属類をつけている方
- ⑤ ペースメーカー、埋め込み型除細動器などの機器を使用している方
- ⑥ その他、重篤な精神疾患や身体疾患のため、安全に治療を行うことが出来ないと判断される方

初診時から自由診療になり、公的医療保険は適用されません。初診料は 8800 円になります。ご希望の方はまずは電話でお問い合わせ下さい。

電話番号 0250-47-3300

電話受付時間：月曜日から水曜日、金曜日 午前 9:00～12:30 午後 15:00～18:30

木曜日・土曜日 午前 9:00～12:30

ご予約後の流れ

1 初診

TMS 治療の適応があるか、TMS 治療を行う前に検査が必要か等を判断させていただきます。精神的な状態像、身体的併存症、既往歴(主にてんかん、けいれん性疾患の既往)、服薬内容(ベンゾジアゼピン受容体作動薬や気分安定薬の服薬状況等)によっては、治療が行えない場合があります。初診時の服薬内容によっては、すぐに治療を行えなくても、当該薬を漸減中止することにより、TMS 治療を受けられる場合もあります。薬の漸減中止のスケジュールについては、場合によっては、その薬を処方した他院の医師とも協議しながら決定します。

2 TMS 施行前検査

適切な刺激強度を決定するために、運動誘発電位検査(※MEP 検査)という検査を行います。検査費用は 10000 円です。※ MEP=Motor Evoked Potential

TMS 治療の適応や刺激条件を決めるために必要な検査です。この検査の結果によっては、TMS 治療を行えないこともあります。

【運動誘発電位検査とは？】

大脳の運動野を刺激することによって末梢の骨格筋に誘発される活動電位を記録することにより、適切な刺激強度を評価する検査です。大脳の刺激には、磁気刺激装置を使用します。検査時間は約 30 分程度を見込んでいますが、より長い時間を要する場合があります。

3 TMS 治療

当院では、これまでうつ病患者様に対して有効性が示されている「シータ・バースト」というプロトコルを採用しています。1回の実施に約7分間、可能であれば、週4~5回、合計20~30回、4週間~6週間治療を行います。適宜、ハミルトンうつ病評価尺度(HAM-D 17項目)という評価尺度を用いて、治療効果について判定します。

【注意事項】

- ・お食事は普段通り召し上がって頂いて構いません。検査や治療中は、個人差がありますが頭部の皮膚表面に痛みを感じる場合があります。
- ・治療中は比較的大きな音が発生するため耳栓をして頂く場合があります。
- ・磁気を用いた治療であるため、磁気の影響を受ける可能性のある電子機器や金属類は体からはずして頂きます。

【副作用について】

- ① 頻度の高い副作用：頭皮痛・刺激痛(30%前後)、顔面の不快感(30%前後)、頸部痛・肩こり(10%前後)、頭痛(10%未満)。
- ② 重篤な副作用：けいれん発作(0.1%未満)、失神(頻度不明)。これまでの rTMS に関する全てのけいれん誘発事例の報告の中で、けいれんが重積した症例やてんかん原性を新たに獲得した症例は1例も報告されていない。
- ③ その他の副作用(頻度小)：聴力低下、耳鳴りの増悪、めまいの増悪、急性の精神症状変化(躁転など)、認知機能変化、局所熱傷など

「公益社団法人 日本精神神経学会 新医療機器使用要件等基準策定事業 rTMS 適正使用指針作成ワーキンググループ 平成 29 年度 新医療機器使用要件等基準策定事業 (反復経頭蓋磁気刺激装置) 事業報告書」より引用

【治療費用】

初診料 8800 円

MEP 検査 10000 円

TMS 治療(左背外側前頭前野 シータバースト 約7分)1回 8000 円

TMS 治療(左背外側前頭前野高頻度刺激 約20分)1回 10000 円

TMS 治療(左背外側前頭前野高頻度刺激 約37分)1回 12000 円

TMS 治療(右背外側前頭前野低頻度刺激 約30分)1回 12000 円

仮にシータバーストを20回施行したとすると、総額約18万円に、30回施行したとすると、総額約26万円になります。